

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2023年9月10日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖 歌 629 「 恐 れ な く 近 よ れ 」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖 歌 319 「 牧 主 な る 主 よ 」	一 同
教会学校	絵 本 「 私 に つ い て 来 な さ い 」	牧 師
讃 美	聖歌418「あなたの罪あやまちは」	一 同
聖書朗読	使徒行伝6:8-15	
奨 励	使徒行伝の福音(第20回)	牧 師
主 題	「命のパンをも届けて」	
讃 美	聖 歌 151 「 妙 な る い の ち の 」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖 歌 266 「 主 よ 、 共 に ま し て 」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	創 世 記 2:8-24	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース

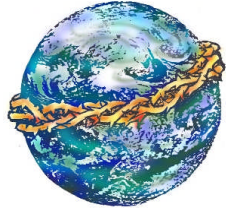


【祈りの課題】

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

【今週の歩み】

9/10(日) 聖日礼拝
/11(月)
/12(火)
/13(水) 10-15: OBSカサ
/14(木) 10:00 祈り会
/15(金)
/16(土) 13-16 子供オプンハウス



良書ハイライト

「いこいのみぎわ」

フィリップ・ケラー著「羊飼いが見た詩篇23篇」p.59-61

一般論であるが、羊のための水は、主として三つの源から取られる。草の露、深い井戸、それから泉や小川である。

たいていの人は、毎朝、草に露がしっとりとおりているならば、羊は何ヶ月間でも、特に暑くない気候の時には、実際に水を飲まないでも耐えることができるということを知らない。羊は習性として、ちょうど夜明け前に起きて、草を食べ始める。もし、月の明るい夜なら、夜中でも草を食べる。朝早いうちは、植物は露でぬれている。羊は、夜明けのちょうど前後に草を食べる時、その草と共に口に入れる程度の水で健康を保つことができる。

もちろん、露はきれいな、澄んだ、清潔な水の供給源である。夜明けの木の葉や草の上にのった銀色の大きな粒をした露ほどに、静かな水のほとりを輝かしく描き出すものはない。

勤勉な管理者である、良い牧者は、その羊が外に出てこの露でぬれた植物を食べることが必ずできるようにする。もし必要なら、自分自身も朝早く起きて、群とともに野に出て行くことになる。本拠の牧場であろうと、野に出ていようと、彼は確かに羊がこの早朝の草の食事の恵みにあずかるように気をつける。

キリスト者の生活の中で、決しておろそかに見過ごしてはならないこととして、しばしば、最も落着いた、最も確信のある、そして人生の複雑さに対処できる人々は毎日朝早く起きて、神のこゝばを「食べる」人たちであるということがある。彼らが静かな、いこいの水のほとりに導かれ、そこで一日のための、ほかならぬキリストのいのちを吸収するのは、静かな、朝早い時のうちである。

これは単なる比喻ではない。現実的な現実である。神の人であった偉大な男、女の伝記は、繰り返して、彼らの霊的な生活においての成功の秘訣が毎朝の「静思の時」にあることをさし示している。そこで、ひとり、静かに、主の声を待っているながら、人は、静かに古い賛美歌の歌詞によって言えば、「御霊の静かな露が私の生命とたましいの中に落ち込んでくれることができる」という場所に導かれるのである。

この静思、反省、キリストとの交わりの時間がすんだ後、その人は心もたましいも、生気に満ちる。渇きは消え、心は静かに満たされる。